

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 34
令和2年 3月 2日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

〇この1年間、本当にありがとうございました。

～ 令和元年度の最後の日にあたって ～

人生には、予想もできないこと、想定していないようなことが起きるものです。今回の事態に当たり、痛切にそのことをしみじみと思います。

2月の下旬、3年の社会見学も天候に恵まれ実施でき、雪不足で延期した4年生のスキー遠足も新雪に恵まれますばらしい条件の下で無事に実施でき、いよいよ、**3月19日の令和元年度第3回八東小学校卒業証書授与式**、そして、**3月24日の令和元年度修了式**を迎えるばかりと思っていました。準備も着々と進み、全校141名の子供たちは、本年度のまとめ、そして、小学校生活のまとめに向かっていました。毎朝、校舎には、卒業式に歌う全校の「さようなら」、そして、卒業生が歌う「**旅立ちの日**」の歌声が流れていました。

あと3週間ほどだなと・・・

しかし、2月27日・木曜日の夕刻の安倍首相の発表で事態は急展開しました。その結果、八頭町としては、**3月3日（火）から4月6日（月）までの臨時休業**となりました。在校生にとって、そして、卒業生にとってあまりにも唐突で不本意な、何よりも残念な事態の展開となりました。

校長として、子供たちに大変申し訳なく思います。「できれば。」という思いはありますが、義務教育期間の子供たちを教育する小学校、公教育である小学校としては、国の方針に従い応じなくてはなりません。保護者の皆様には、何卒、御理解の程、よろしくお願いします。

今回の事態に当たり、学校としても2月28日（金）にお渡しした文書のように、今後児童への支援を進めて参ります。今後も何かあれば学校に御連絡ください。教職員全員で141名の児童を、最後までしっかり見守っていきます。どうぞよろしくお願いします。

人生には、私たちが思いもしないようなことが起きます。しかし、そうした事態にあたったとき、どう考え、どう行動するか。それが大切です。変えようもない、どうしようもない事態に直面したとき、次の一歩をどう歩み出すか。そこに、人としての有り様が問われます。そして、今回いつも「**学校便り・柏葉の杜**」で繰り返し使ってきた言葉、「**有り難い・ありがたい**」という言葉の意味を、改めてしみじみと噛みしめました。

何でもないような、何気ない、ごく普通の当たり前の日々が、如何に、どれほど、「**有り難い・ありがたい**」日々であるか。いつもと同じように、学校に登校し、みんなと勉強し、みんなと遊び、みんなと給食を食べ、そして、また、次の日も、同じ日々が続く。しかし、それは「**奇跡**」のような日々かもしれません。今の毎日は、日々の生活は、「**奇跡**」の**連続**です。

ですから、全校集会でいつも子供たちに言ってきました。「**一日一日を大切に**」です。

141名の子供たちが、無事に4月を迎えることができるように、保護者の皆様、御家族の皆様、地域の皆様には、今後も学校との連携をどうぞよろしくお願いします。また、何かあれば学校に御連絡ください。子供たちの健康、安全への指導・配慮を、どうぞよろしくお願いします

〇休業中の学習・生活について ～ 校長から、子供たちへの宿題です。 ～

3月3日（火）から4月6日（月）までの学習・生活については、学校として・各学年としてお伝えしたとおりです。子供たちの学習や生活については、ここで詳しくは触れませんが、**基本は、不要・不急な外出は避ける**ように、各家庭でも、指導をよろしくお願いします。詳細は、それぞれ関係する文書を確認いただき、不明な点があれば、学校に御連絡ください。

ところで、**校長から保護者のみなさんへ、子供の学習についてお願いが一つあります**。是非、**この休業中に、必ず、全ての教科書を全部読ませてください**。勉強したところはもちろん、勉強していないところも手助けしながら読ませてください。

私自身が小学校の時、4年生頃から春休みはいつも親に言われしていました。今思えば、貧乏で家には本がほとんどなかったの、両親が、「**教科書を読みなさい、何回でも読みなさい。教科書が一番の本だ。**」と良く言っていました。今思えば、今の私をつくってくれていると思います。

教科書を読むことは、何よりの勉強です。「音読」は、大事な勉強です。